

1 1
読 む
古文を味わう
〔知識・技能〕
名 前

やってみよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

仁和寺にんなじにある法師ほふし、年寄るまで、石清水いししみづを
 拝まざりければ、心こころうくおぼえて、ある時思
 ひ立ちて、ただひとり、徒歩もつより詣でけり。
 *
 極楽寺・高良かうらなどを拝みてかはかりと心得て
 帰りにけり。さて、かたへの人にあひて、年
 ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きし
 *
 にも過ぎて、たふとくこそおはしけれ。そも、
 *
 参りたる人ごとに山へ登りしは、何事かあり
 けん。ゆかしかりしかど、神へ参るこそ本意
 *
 なれと思ひて、山までは見ずとそ言ひける。
 *
 少しのことにも、先達はあらまほしきこと
 *
 なり。
 (『徒然草』より)

注

- *仁和寺にある法師＝仁和寺にいたある法師
- *石清水＝石清水八幡宮のこと、京都府八幡市男山の山上にある
- *心こころうくおぼえて＝情けなく思つて
- *極楽寺・高良＝石清水八幡宮の付属の寺社で、隣りあつており、ともに男山のふもとにあつた
- *かはかり＝これだけ
- *かたへの人にあひて＝仲間の僧に向かつて
- *そも＝それにしても
- *本意＝本来の目的
- *先達＝指導者、案内者
- *あらまほしき＝あつてほしい

一 「拝みて」の主語は、だれですか。次のア～ウの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 仁和寺にある法師
- イ かたへの人
- ウ 先達

二 「言ひける」の歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

三 「かはかり」とは、具体的にはどのようなことを言っているのですか。次の説明の空欄(らん)に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

を

石清水八幡宮だと思い、これだけがすべてだと思つて帰つてきた。

四 この文章の中に、仲間の僧に向かつて言つた言葉(ことば)が付くところ(ところ)があります。その始めと終わりの三文字を書きなさい。

五 筆者の意見が書かれている一文を書き抜きなさい。